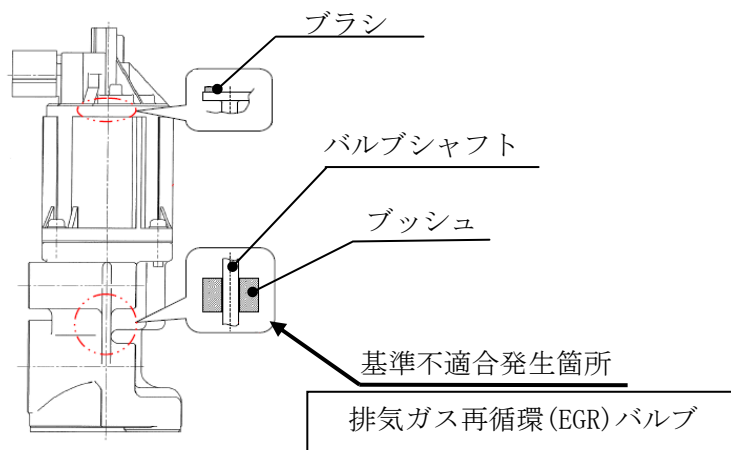
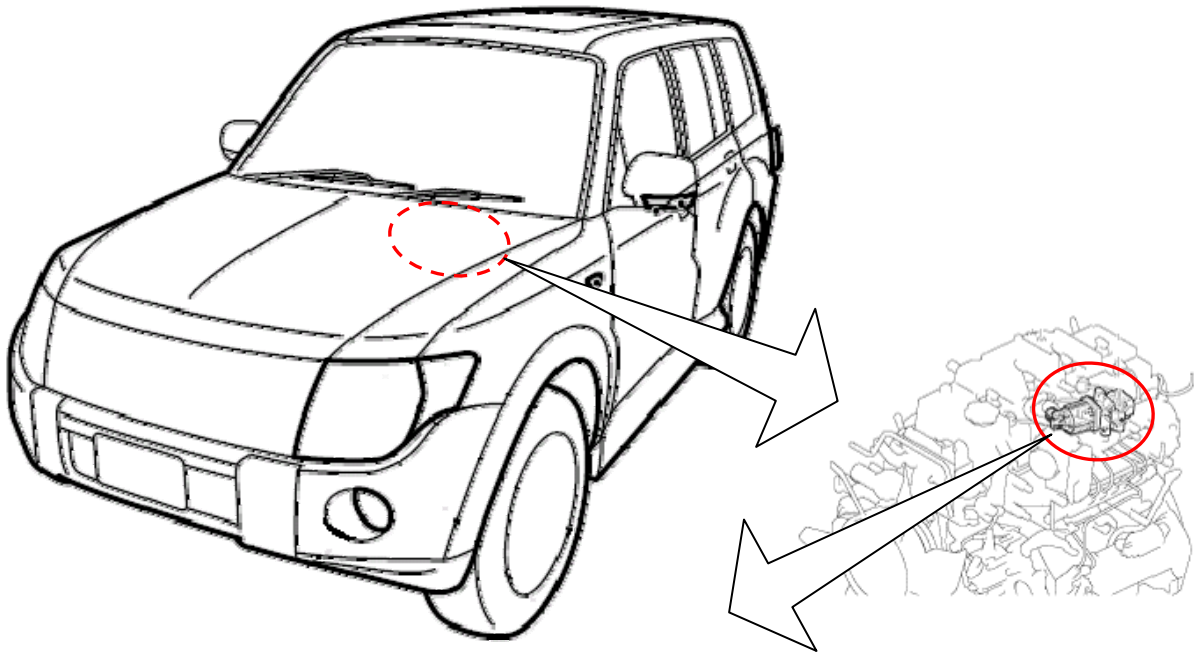


# 改善箇所説明図



排気ガス再循環 (EGR) バルブにおいて、バルブシャフト部にあるブッシュのシール構造が不適切なため、バルブシャフト作動時にシール性が低下し、排気ガスがモータ内に侵入する場合があります。その後、モータ内部にあるブラシが異常摩耗することにより導通不良が発生すると、EGR バルブの機能が停止し、エンジン警告灯が点灯する。

## 改善の内容

全車両、排気ガス再循環 (EGR) バルブの外観形状を確認し、シール構造変更前品の場合には対策品と交換する。

注：図中の  内は、交換部品を示す。

識別：EGR バルブの取付けボルト 4 本の頭部に白または黄色のペイントを塗布する。